

校長挨拶

皆さま、本校のホームページをご覧いただきありがとうございます。

本校は、生徒一人一人の「夢の実現」と、これからの社会を支えていく「逞しい若者を育む」公立中学校として、「最良・最善の教育」を目指しております。教職員一丸となり、誠心誠意、教育活動に取り組んでまいり所存です。

私たちは、子どもたちを教え導くプロとしての自覚と誇りを持ち、ある言葉を胸に日々の指導にあたっています。それが、「出藍（しゅつらん）の誉れ」です。

「青は藍より出でて 藍よりも青し」

藍という植物から抽出された染料で染めた絹は、もとの植物よりも鮮やかな青色に染め上がります。また、水からできた氷が、もとの水よりも冷たいのと同様に、学問もまた積み重ねによってさらに発展していくものです。

この言葉が意味するように、本校で学ぶ生徒たちが自ら精進し、努力を重ね、いつの日か私たち師を追い越していくことこそが、教育の本来の姿であると考えています。教え子が師を超えて羽ばたき、人類や社会のために貢献する逞しい若者へと成長を遂げる姿を見守ることこそ、私たちの最大の喜びであり、使命です。

生徒たちの無限の可能性を引き出し、その「出藍の誉れ」を実現するために、私たちは全力を尽くしてまいります。

保護者の皆さま、地域の皆さまにおかれましては、今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和8年4月 学校長 廣田隆弘

出藍の誉れ

【意味】 教えを受けた者が、教えた師（し…先生のこと）よりも優れていること

【説明】 荀子（じゅんし）が学問の重要性を説明するために使った言葉からできた。

「学問は奥深く終わりが無い。勉強をおこたらず、はげむことが大切だ。青は藍（あい）よりとりて藍（あい）よりも青く、氷は水よりつくりて水よりも冷たし。」

青色の染料（せんりょう）は藍（あい）という草から作られるが、その色は藍（あい）という草の色よりもさらに青い。氷は水から作られるが、その水よりも冷たい。つまり、もとになった物よりも、それからできた物の方が優れている。このように学問も積み重ねによって、さらに発展するということ。